学校番号	105

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書道Ⅰ　（東京書籍）						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学ぶ。
・楷書から入り、篆隷行草に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざす。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てる。
・授業の進め方については、授業毎の目標を明確化し、表現(書作の意図・書写技術)と鑑賞を並行して扱い、評価については、各単元・授業毎の作品提出でおこなう。

２　学習の到達目標

・小・中学校国語科書写の学習を基礎とし、書道の幅広い学習活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
・書に親しむ活動を通して感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための能力を伸ばす。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート ポートフォリオ	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書写と書道 (書体の変遷)	・国語科書写と芸術科書道 ・正式書体・略式書体「天」の字を使った書体の変遷 ・さまざまな篆書を使って書として表現された文字に興味を持つ	○			○	a:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	観察 ポートフォリオ 提出作品
5 6 7 8	楷書・行書の学習	・唐の四大家を、形臨中心に行い、書風の違いによる表現技術の習得と鑑賞する習慣を身につける。 九成宮醴泉銘・孔子廟堂碑・蘭亭序など	○	○		○	a:二書体（楷書・行書）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な二書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
9	篆刻 印材による姓名印づくり	・自分の名前調べ（各書体） ・名前の白文印の制作	○		○	○	a:名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:印稿づくりにおいて小筆の弾力を活かし、硬筆等にも応用できる技法を身に付け表している。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品
10 11	篆書・隷書・草書の学習	・曹全碑や泰山刻石を、形臨中心に行い、書風の違いによる表現技術の習 得と鑑賞する習慣を身につける。 ・漢字臨書作品制作	○	○		○	a:三書体（篆書・隷書・草書）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な三書体の古典を知り、そのよさや美しさ	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品

							を味わっている。	
12 1 2 3	仮名（ひらがな）から漢字仮名交じりの書	・淡墨によるひらがな連綿、古筆臨書 ・今年の目標制作 ・漢字仮名交じりの書（ひらがなと漢字による表現）	○	○	○		a：墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b：一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。 c：平仮名の単純化された筆使いを身に付け表現している。 d：墨色は黒一色ではないことを理解し、そのよさを味わっている。	観察 ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。